。対こり間

策れシ線

を以し量

行上べの

うのル基

こ場ト準

所有者

3

副 市 長 退 任 あ



協の のま 力皆一職し をを様期をての 賜に4退任た りは年任期び 暖間い満 に大かのた了12 謹過い在しに月 んなご職まよ31 でく支中しり日 た副 市も

ま が で き ま たこと 厚職援、 市 く責 おをご民 長ち

るこ すお力は上 `げ 願い いた一 申し市す した民 上くと げ存し じ 7 退ま本 任す市 のの発 で展 あ 0 いこた さつとされまで同様にめ、いされ さ同さ せ様さ ていた ななり

きほも今申う

ど尽後しす

指 名平 競 成 24 年 札 度 参 加追 資 加 格 分 審 **の** 査 街 市 を 建 設 け \mathbf{I} 付 事 け ま व

水

道

ഗ

冬

た

<

を

ま

ょ

う

託測が

と適事さ指造資のよ に市な格等れ名購材委び市 り者指る競入 要はま名名方争な器業量発 す簿競は入ど具務 °へ争、札のおな調す の入八に契よら査る 登札街参約びび 載参市加に物に設設 が加建をか品工計工 必資設希かの事な事 要格工望る製用どお

必で な 資こ 格の 審名 査 簿 申へ 請の を登

> てぺの ム詳使し書受け ジ類付付 1にしかな日け てらど程ま く く ば や す す うまさい `資 さン市格 認てい口の審 1 ホ査 1 申 K. しム請

> > た水に

道な気夜

管る温の

7

えこみ

注

まはとが冷すする。マネ

っ防イ

た寒ナ

ためのスに

裂全以意

`不 4

破完℃

しな下

さがし湯

いあたを

ま

りりか

すひる

、 、 け

ペ細用 9 で 確 くは だ市 さホ

[(1

詳 4 3 は 1 1 市 役 1 7 所 財 政

課

を水所道

ま管日

がし道や管むす凍

しは陰強出

ょ、ないし う早ど風に

。めにがな

に設吹っ

冬置きて

·。材

き

① ② の び と

、社法管

理しきし締

をてつため

おかけ部て

申らる分水し、なにを

込市ど布止

道くターーなクさい(なな利。材課だールボどスいの蛇どい用なな

ッをの

破

L

た

لح

き

ത

)で口をよさおど

完部巻うれ `を

全分い上る毛巻

| 詳スののた毛メにがてか場布い水防で割水こ 0 しをせ上り布 | 包破くら合やて道寒ごれ道の

6 く保てに、やタん裂だビは布く管の注す管と 7 は温、ダメ布 l でしさニ、なだにし意るがき 7 市しメン l 切ぶくやい l 濡どさ保かくこ破熱 へ水でしずタれッだす。ルれをい温ただと裂熱

放 駙 線 里 低 減 砅 基 本 方 針

街

币

公

ど

を

(4)

ミ空準め減市安放原針 るに内心射子は も関に感能力 のすおを汚発東 でるけ高染電京 基るめに所電 ○本放る対の力 的射たす事件 皆次低门期市 ま さの減 ジ的内

① 事 線 め る 故 福

と間市減をの八民伴第の

ま低し1の基定低街のうー

市に島こ

る50定 公 べは と合以を 低減対策の対象 実施者 市の公共施設 八街市 公共的施設 施設管理者 (民間の幼稚園等)

cm 箇空表放ル 0 なとは下年本低項量

おし

3 1 す減

のお策ど測 り**の**で定共 と実公し施表、設 協 力 を 主すホな お市体る 1 願民 ム NO ペ定 有施の低測確作限所右ど除掃に雨土削土と本低

、て

表

下 層

層を

土

کے

す

0

7

え

すんと対なにの

2 る積い入取にり本対 し下れるつ実方策 たや替かい施針 土側 砂溝る表はる沿 を 収集 ち 葉 集水 清枡

4 了適洗作掃芝 が行うり、 入な 線果行りい 制箇

者設取減定認業なは記の草す堆どをり壌お基減は管り対調す終ど、の清、る積い入取にり本対 理扱策査る をた後切浄業を刈 射効を 量をう

原者いに 則お とよ しび て、 土 地 自所

4 詳

4 L

1

4

0 役

< 3

は、

市

6 所

へ 環

。境

課

申定

`所間

よ量

りの

上定

、測

1 に線

cm 地 測

測 5 は

定 cm

0

0

を

す

射 1

ത

測 す

定

お

ょ

び

民間の私有地

じ

た

物

と 2

まマ時

ク

イ間

口た

シり

1で

当

次 0 で 適 切 な

を 行 う B と す る

【イメージ図】 掘った土 深さ20cm以上 低減対策により生じた物

管区 理内 設 な

の埋 ど 0

○み指のかめ○じさ込い○しさ込い○ない○しさ込いため水○はさ込いため水・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる・ためる 。修を巻裂を つ

出

な

U

☎さボな

4 いッどク入中 4 °クをスれに

つる い 湯 ル **処 が** さ 者 処 プ るをを法凍いへ置を破ん 場ゆか つぶ 所 を溶 くせ りた かと上 しかか てけら

年 後 制 度 研 修 会

成

とし見の ま制話講 す度を談 。の織師 概りや 要交親 やぜ族 て後、見 職 見 務 を成人 解年か 説後ら

とこ ろ 我午50生 勤後分 労 4 5 市時

午 2

前 月

9 4

時日

込員 E 申 3 民千 メ 込 5 プ 葉 書0ラ市 ルを人ザ蘇 でF A 申 X 込 か順

〕議

費申 込 限 月 25 日 (水)

申議※ 市書 0 役は0 所 福市(祉社資 課会料 で福代 配祉 付協

☎会詳 ☆204―6012へ。 会千葉県後見支援センタ 計しくは、県社会福祉協 4―6012へ。 県後見支援センタは、県社会福祉協

込0用期 ,円

E 図込会申1 メ2先、込0

1 ル